

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデミア

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	ファッション学科	夜・通信	224 時数	160 時数	
	インテリアデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	マンガ学科	夜・通信	576 時数	160 時数	
	イラストレーション学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	総合デザイン学科	夜・通信	160 時数	160 時数	
	ゲーム・CG 学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	フィギュアデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	アニメーション学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kdg.ac.jp/information.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表 <https://www.kdg.ac.jp/information.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役 (現職)	2017.11.15 ~ 2025.8.4	ガバナンスの強化
非常勤	株式会社取締役	2024.7月中旬 ~2025.8.4	ガバナンスの強化
(備考) ※任期が7月中旬となっている外部理事につきましては、現在選任中により、始期は予定で入力しております。決定次第早急に更新いたします。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデミア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラム会議にて学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成する。各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当がシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。</p> <p>作成時期：開始年度前年の11月末 公表時期：開始年度前年の12月中旬</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.kdg.ac.jp/information.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果は授業担当の評価を学科長が確認を行い最後に学校長が確認した上で単位の認定を行う。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。評価が悪い学生には担任より指導、補講が行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=基準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(全教科の評価ポイント)の合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.kdg.ac.jp/information.htm</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <p>・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 https://www.kdg.ac.jp/information.html</p>

2. 教育活動に係る情報 R6

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/120 単位	256 単位 時間	2,240 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,496 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		110人	2人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	1人 (17.9%)	44人 (78.6%)	11人 (19.6%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所/印刷会社など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107人	7人	6.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学習意欲の喪失、経済的理由、就職のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ファッション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 120 単位	480 単位 時間	3,648 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4,128 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		29人	1人	3人	4人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

(概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換: A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出:(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

(概要) 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している

学修支援等

(概要) 放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） アパレル販売/縫製会社/アパレルメーカーなど			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））ファッション販売能力検定 パーソナルカラーコンサルタント、産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	10人	43.5%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、単位取得困難、精神的な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	インテリアデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／120 単位	384 単位 時間	2,432 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,816 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		45人	1人	2人	6人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	16人 (94.1%)	1人 (5.9%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所/家具制作販売企業/住宅メーカーなど			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	10人	19.6%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、学習意欲の喪失、単位の修得が困難、精神的な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	マンガ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／120 単位	80 単位時 間	3,824 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,904 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		138 人	0 人	4 人	10 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
102人 (100%)	0人 (0%)	79人 (77.5%)	14人 (13.7%)
（主な就職、業界等） 漫画家デビュー/デザイン事務所/ゲーム制作会社/印刷会社など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
189人	35人	18.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、単位の修得が困難、学習意欲の喪失、経済的理由、精神的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	イラストレーション 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／120 単位	384 単位 時間	2,176 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,560 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		133人	0人	5人	12人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
73人 (100%)	0人 (0%)	49人 (67.1%)	24人 (32.9%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所/イベント会社/印刷会社など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
155人	7人	4.5%
（中途退学の主な理由） 単位の修得が困難、経済的理由、健康上の理由、学習意欲の喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	総合デザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／120 単位	768 単位 時間	19,392 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			20,160 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		24人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90%)	1人 (10%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所/アパレル企業/印刷会社など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	1人	4.3%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、単位の修得が困難		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ゲーム・CG 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／120 単位	320 単位 時間	3,648 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,968 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110 人		66 人	6 人	3 人	8 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
44人 (100%)	3人 (6.8%)	23人 (52.3%)	18人 (40.9%)
（主な就職、業界等） ゲーム制作会社/Webデザイン会社/プログラマーなど			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88人	7人	8.0%
（中途退学の主な理由） 精神的な理由、進路変更、経済的理由、健康上の理由、就職のため、他		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	フィギュアデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／120 単位	256 単位 時間	2,340 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,560 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		29人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	2人 (18.2%)	9人 (81.8%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） フィギュア制作会社/造形関係企業など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	2人	7.7%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	アニメーション 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／120 単位	384 単位 時間	2,980 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,328 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		65人	3人	2人	4人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。

・成績は5段階で評価を行う

A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)

・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。

G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0

算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。

・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。

学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。

学修支援等

（概要）放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (0%)	25人 (80.6%)	6人 (19.4%)
（主な就職、業界等） アニメ制作、企画、販売			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等））産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69人	10人	14.5%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、健康上の理由、単位の取得が困難、経済的理由、精神的な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
グラフィックデザイン学科	100,000円	780,000円	239,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・選考料 20,000円 ・校友会費初年度 10,000円 ・団体保険料 2,000円 ・教材費（※学科によって異なる）
ファッション学科				
インテリアデザイン学科				
マンガ学科				
イラストレーション学科				
総合デザイン学科				
フィギュアデザイン学科				
アニメーション学科				
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kdg.ac.jp/information.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校の理念・運営・教育活動・成果・学生支援・教育環境・学生募集・財務・コンプライアンス・社会貢献など主に10個の基準について、7名以上の評価委員と学校関係者で学校関係者評価を行う。委員は、</p> <p>①企業団体関係者、企業経営者またはそれに準ずる者より1名、②公認会計士、税理士またはその他財務の専門家より1名、③学校卒業生より2名以上、④福岡市博多区の住民で責任的立場にある者より1名、⑤その他学校長が必要と認めた者から構成され、学校関係者評価委員会は年1回(8月頃)開催する。業界が求める人材像や必要とされる知識、技術など教育や就職指導に関する意見を交わし、評価を受けた後、評価が低い案件については学校長と学務責任者で確認し、学務会議での協議を通して10月以降学務責任者の指導の下、改善に向け取り組んでいく。</p> <p>《過去議題例》</p> <p>教育に関して：業界が求める学び/留学生制度/社会性の向上/ 修学支援の新制度/法人合併後の教育システム変更及びカリキュラム統一</p> <p>就職に関して：インターンシップの中身/卒業生の活躍状況把握/ 就職率向上から就職の質向上へのポイント (業界 EXPO、進路 EXPO)</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福岡県洋菓子協会	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	業界団体
税理士法人アーク・パートナーズ	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	会計士
株式会社荻田商業建築 デザイン事務所	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	企業等・卒業生
オリエンタルホテル福岡	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	企業等・卒業生
アミ・シュプール	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	企業等・卒業生
株式会社 映像ボックス	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	企業等・卒業生
福岡市博多区博多駅前 3丁目2区自治会	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	自治会長
博多女子高等学校	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	高等学校
株式会社 T00・福岡支店	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	企業等
株式会社イクティス	2023年9月1日～ 2025年8月31日(2年)	企業等
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kdg.ac.jp/information.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kdg.ac.jp/information.html
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H140313000109
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 21世紀アカデメイア

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		170人	160人	175人
内 訳	第Ⅰ区分	111人	120人	
	第Ⅱ区分	39人	28人	
	第Ⅲ区分	20人	12人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				175人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	-
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	-
計	0人	0人	-
(備考)			0

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	21人
3月以上の停学	0人
年間計	21人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	-	15人
計	0人	-	20人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。